

環境調査結果のお知らせ

平成28年7月4日午前9時から浦ノ内湾の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

概況

湾内の環境は、水温23～30℃、塩分17～31、溶存酸素量0.4～13mg/lでした。
透明度は1～3mで、有害種のシャットネラ属、カレニア・ミキモトイが確認されました。

水温と塩分(表1・2)

水温23.1～29.9℃、塩分16.8～30.6でした。
前回調査時(H28.6.27)と比較して、水温は表層から10m層及び底層で0.3～3.1℃上昇していました。塩分は2m層から底層で0.1～0.6低下していました。

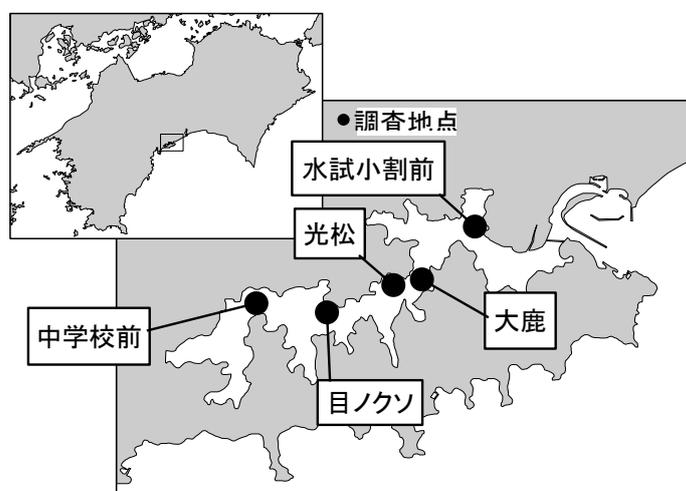
溶存酸素量(表3)

溶存酸素量0.4～12.9mg/lでした。
前回調査時と比較して、溶存酸素量は表層から10m層で0.3～2.2mg/l減少していました。
また、中学校前と目ノクソの5m層以深と、光松と大鹿の10m層以深で貧酸素状態になっていました。

透明度・プランクトン(表4・5)

透明度は1.3～2.6mでした。
検鏡の結果、魚類に有害なシャットネラ属が最高で7,300cells/ml、カレニア・ミキモトイが最高で160cells/ml確認されました。
シャットネラ属は全ての観測点で漁業被害が想定される細胞密度を超えていました。
カレニアは全ての観測点で漁業被害が想定される細胞密度を下回っていましたが、7月1日のプランクトン調査時より増加していました。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



漁業被害が想定される細胞密度

- ・カレニア・ミキモトイ： 数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・シャットネラ属： 10～100cells/ml(魚類のへい死)

環境調査結果表(水温・塩分・プランクトン等)

表1 水温(°C)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H28.6.27)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	29.6	29.9	29.4	29.6	28.7	29.6	26.5	3.1
2m	25.5	25.6	25.4	25.1	25.4	25.4	24.9	0.5
5m	24.6	24.4	24.5	24.4	24.8	24.5	24.2	0.3
10m	24.1	24.0	23.8	23.7	-	23.8	23.8	0.0
B-1m	23.7	23.7	23.1	23.1	24.5	23.3	22.9	0.4

表2 塩分

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H28.6.27)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	16.8	17.5	19.0	19.2	21.3	18.6	18.6	0.0
2m	26.5	26.3	26.5	27.0	27.3	26.6	26.7	▲ 0.1
5m	28.2	28.2	28.5	28.7	29.0	28.5	28.7	▲ 0.2
10m	29.3	29.4	29.8	29.9	-	29.7	29.9	▲ 0.2
B-1m	29.7	29.9	30.6	30.6	29.4	30.4	31.0	▲ 0.6

表3 溶存酸素量(mg/l)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前	漁場平均 ※	前回調査(H28.6.27)	
							漁場平均	前回との差 今回-前回
0m	10.4	10.9	12.9	12.2	10.7	12.0	14.2	▲ 2.2
2m	3.9	5.8	7.7	6.8	8.8	6.8	7.1	▲ 0.3
5m	1.9	3.0	5.0	4.7	6.8	4.2	5.1	▲ 0.9
10m	1.2	2.4	1.9	1.7	-	2.0	3.6	▲ 1.6
B-1m	0.7	1.0	0.4	0.4	5.5	0.6	0.6	0.0

※ 目ノクソ・光松・大鹿の平均値

表4 水深・透明度(m)

調査地点	中学校前	目ノクソ	光松	大鹿	水試小割前
水深	12.4	14.1	16.8	16.5	8.9
透明度	1.3	1.4	1.9	1.5	2.6
前回(6/27)	1.4	1.7	1.8	1.9	1.7

表5 プランクトン(cells/ml)

		シャットネ ラ属	カレニア・ ミキモトイ	ジャイロディ ニウム属	珪藻類
中学校前	0m	0	0	800	21,700
	2m	7,300	1	310	10,300
	5m	240	50	50	200
目ノクソ	0m	1	0	330	15,500
	2m	1,030	40	90	4,500
	5m	270	160	70	1,100
光松	0m	46	0	300	13,400
	2m	3,100	40	270	2,750
	5m	200	50	20	7,500
大鹿	0m	1	0	650	17,300
	2m	1,370	30	300	5,100
	5m	140	10	40	1,550
水試小割前	0m	0	0	170	13,800
	2m	140	10	220	13,000
	5m	18	0	30	12,000

環境調査結果表(貝毒プランクトン)

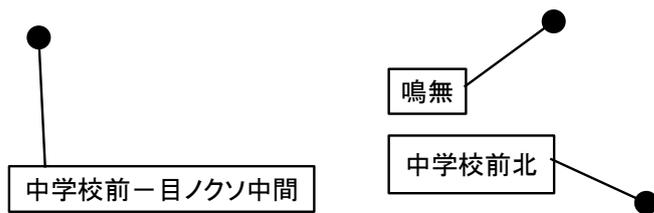
麻痺性貝毒原因種 単位 cells/ml換算

調査地点	水深(m)	アレキサンドリウム 属 (<i>A. catenella</i>)	ギムノディニウム・ カテナータム
中学校前	0	0.000	0.000
	2	0.000	0.000
	5	0.000	0.000
光松	0	0.000	0.000
	2	0.000	0.000
	5	0.000	0.000

下痢性貝毒原因種 単位 cells/ml換算

調査地点	水深(m)	ディノフィシス・ アキュミナータ	ディノフィシス・ フォルティ	ディノフィシス・ コウダータ	ディノフィシス・ ロツンダータ
中学校前	0	0.000	0.000	0.000	0.000
	2	1.100	0.000	0.020	0.000
	5	1.280	0.010	0.000	0.000
光松	0	0.000	0.000	0.000	0.000
	2	1.440	0.000	0.010	0.000
	5	1.850	0.010	0.000	0.000

下痢性貝毒原因種が確認されました。



1～3頁 貝毒担当者に送付してよろしいか伺います。

水試HPIにアップロードしてよろしいか伺います。

- ①P1～2 水試ホームページにアップロードしてよろしいか。
 - ②P1～3 貝毒監視メーリングリストの関係者にメール送信してよろしいか。
- 上記2件、併せて伺います。